

2023年6月26日

いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社

「2023年度新入社員意識調査」の結果について

～2023年度の就職活動を振り返った感想は、「大変厳しかった」「厳しかった」ともに低下～

いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社（代表取締役 佐々木泰司）は、岩手県内企業の新入社員を対象として実施した「2023年度新入社員意識調査」の調査結果を以下のとおり公表します。

1. 就職活動を振り返った感想

「大変厳しかった」と「厳しかった」の合計：31.7%（前年調査比3.9ポイント減）

2. 就職先選択の理由

「堅実で安定性がある」：36.6%（同3.8ポイント増）

「仕事の内容に興味がある」：33.5%（同8.6ポイント減）

「労働条件（勤務時間・休日・休暇等）が良い」：25.0%（同5.9ポイント減）

本調査の調査要領と調査結果の要約は別紙のとおりです。

詳しくは6月30日に弊社ホームページへ掲載する「Research Report 2023年7月」をご覧ください。

《問い合わせ先》

いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社
経営支援部 地域経済調査担当 佐々木邦光
TEL：019-622-1212 FAX：019-654-8059

2023年6月26日

2023年度新入社員意識調査

いわぎんリサーチ&コンサルティング株式会社

代表取締役 佐々木 泰司

盛岡市中央通1丁目2番3号

TEL 019-622-1212

(担当 経営支援部 地域経済調査担当 佐々木 邦光)

< 調 査 要 領 >

調査内容	就職活動の状況や職業観、生活観について		
調査時期	2023年3月～4月	調査方法	アンケート
回答者数	227名（男性120名、女性107名） （高校卒74名、専門学校卒31名、短大卒16名、大卒・大学院卒106名）		

< 調査結果の要約 >

1. 就職活動について

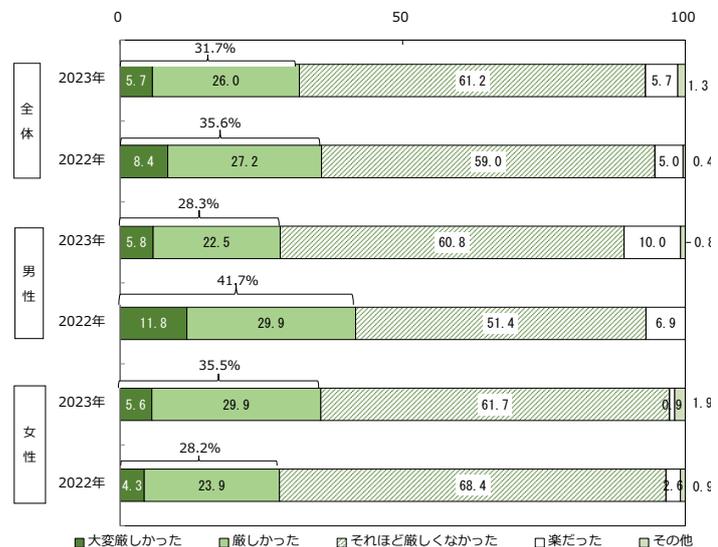
(1) 就職活動を振り返った感想

●「大変厳しかった」「厳しかった」との回答は、前年に比べてそれぞれ低下

就職活動を振り返った感想は、「大変厳しかった」と「厳しかった」の合計(以下、「厳しい」)が31.7%(前年比3.9p減)と低下した(図表1)。

「厳しい」を男女別にみると、男性は28.3%(同13.4p減)と低下した一方で、女性は35.5%(同7.3p増)と上昇した。

図表1 就職活動を振り返った感想

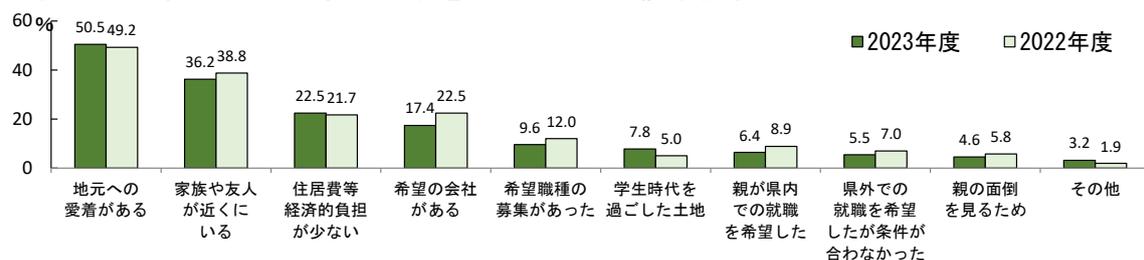


(2) 就職先として岩手県内企業を選んだ理由

●約5割が「地元への愛着がある」を選ぶ

就職先として県内企業を選んだ理由は、「地元への愛着がある」が50.5%(同1.3p増)、「家族や友人が近くにいる」が36.2%(同2.6p減)、「住居費等経済的負担が少ない」が22.5%(同0.8p増)、「希望の会社がある」が17.4%(同5.1p減)となった(図表2)。

図表2 就職先として県内企業を選んだ理由(複数回答)



2. 職業観

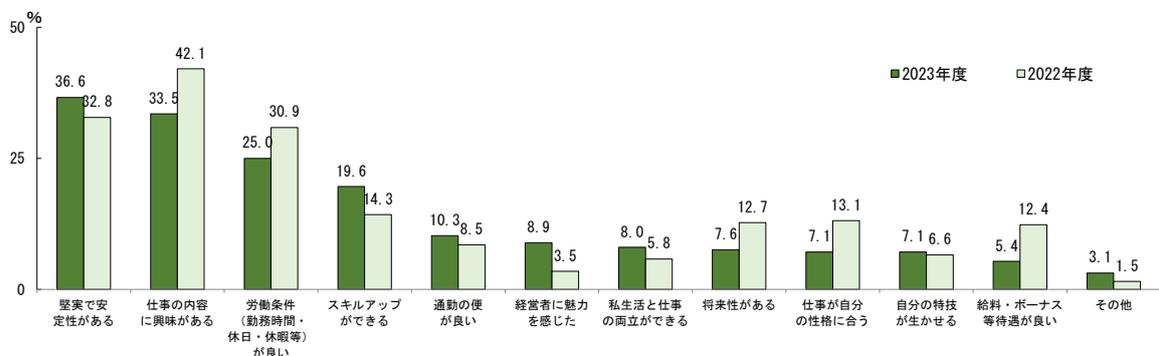
(1) 就職先選択の理由

●「堅実・安定性」「仕事の内容」「労働条件」が上位

就職先選択の理由は、「堅実で安定性がある」が36.6%(同3.8p増)、「仕事の内容に興味がある」が33.5%(同8.6p減)、「労働条件(勤務時間・休日・休暇等)が良い」が25.0%(同5.9p減)となった(図表3)。

前年に比べて堅実性・安定性が上昇し、今回の調査では最も高い割合となった。一方、仕事の内容や労働条件については、引き続き重視する傾向があるものの、前年比では低下した。

図表3 就職先を選んだ理由(複数回答)



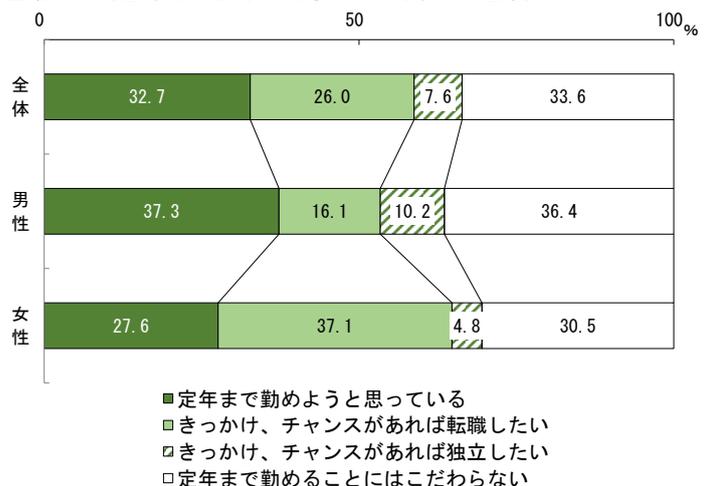
(2) 定年まで今の勤め先で働く意識

●「定年まで働きたい」は約3割

定年まで今の勤め先で働くかについては、「定年まで勤めようと思っている」が32.7%、「きっかけ、チャンスがあれば転職したい」が26.0%、「きっかけ、チャンスがあれば独立したい」が7.6%となった(図表4)。

男女別では、定年まで働くことを希望する割合は男性が多く、転職を視野に入れている割合は女性の方が多かった。

図表4 定年まで今の勤め先で働く意識



(注) 選択肢を一部変更したため前年比はない

3. 生活観

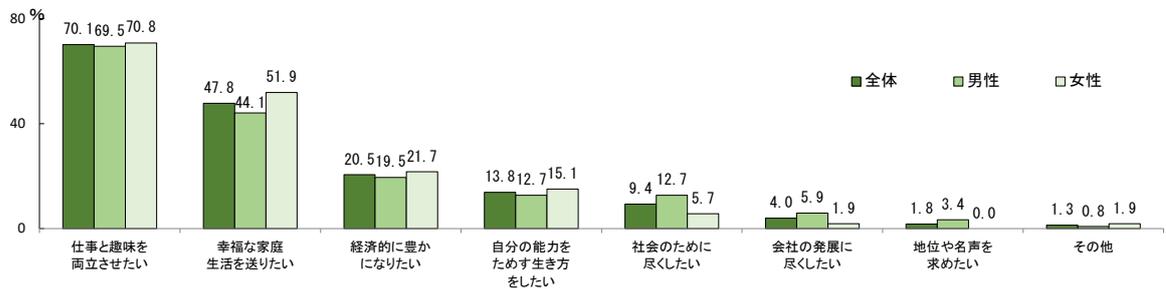
(1) 理想とする生き方

● 「仕事と趣味を両立させたい」「幸福な家庭生活を送りたい」が上位

理想とする生き方については、「仕事と趣味を両立させたい」が 70.1%と最も高く、次いで「幸福な家庭生活を送りたい」が 47.8%となった。(図表 5)

男女の差をみると、「仕事と趣味を両立させたい」は大きな差はなかったが、「幸福な家庭生活を送りたい」は、女性が 51.9%となり、男性を 7.8p 上回った。また、「社会のために尽くしたい」は、男性が 12.7%となり、女性を 7.0p 上回った。

図表 5 理想とする生き方(複数回答)



(注) 選択肢を一部変更したため前年比はない

(2) 初任給の使い道

● 「生活費」「貯蓄」「家族へのプレゼント」が上位

初任給の使い道は、「生活費」が 49.5% (同 4.9p 増) と最も高く、以下、「貯蓄」が 47.3% (同 8.1p 減)、「家族へのプレゼント」が 37.8% (同 2.2p 減)、「趣味」が 33.8% (同 3.4p 増) となった(図表 6)。

前年に比べて「生活費」、「趣味」、「借入返済(奨学金やクレジット含む)」などの割合が上昇した一方、「貯蓄」、「家族へのプレゼント」などの割合が低下した。

図表 6 初任給の使い道(複数回答)

